

## 情報・システム研究機構 経営協議会（令和5年度第3回）議事要旨

日 時： 令和6年1月24日（水）10：00～12：00

形 式： 情報・システム研究機構会議室及びWeb会議

出席者：東信彦委員、川添雄彦委員、國井秀子委員、五神真委員、佐々木裕之委員、  
竹村彰通委員、徳田英幸委員、永田恭介委員、藤井輝夫委員、森本典繁委員、  
大和裕幸委員  
喜連川優委員（議長）、椿広計委員、中村卓司委員、小酒井克也委員、  
中野美由紀委員、野木義史委員、黒橋禎夫委員、花岡文雄委員、仙波秀志委員、  
中川健朗委員、伏見信也委員

オブザーバー：村上雅人監事、門田隆太郎監事

陪席者：本部事務局・研究所事務担当者

○議事に先立ち、議長より本会の成立要件の確認があった。

○議長より、令和5年度第2回議事要旨の確認が行われた。

議 題：

### 【審議事項】

（1） 本部事務局立川共通事務部の改組について

中村委員より資料1に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。

（2） 統計数理研究所における研究系の改組について

椿委員より資料2-1～2-4に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。

（意見概要）

○改組の効果として研究者育成トップ10%論文の体系的創出という説明があったが、具体的に何を指すのか。

→統計的機械学習とマテリアルズインフォマティクスの分野は元々競争力のある分野だが、今回の改組により特に中堅・若手研究者の研究専従率を上げることで、トップ10%の論文を増やすという効果を狙っている。あまりその基準に捉われすぎずに、競争力のある分野を伸ばしていきたい。

（3） 就業規則等の一部改正について

小酒井委員より資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、過半

数代表者に意見照会することとした。

(4) 令和6年度予算編成方針について

小酒井委員より資料4に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。

(5) 第4期中期計画の変更について

椿委員より資料5-1～5-4に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。

【報告事項】

(1) 令和6年度予算(案)等について

小酒井委員より資料6-1～6-4に基づき、令和6年度予算(案)等について報告された。

(意見概要)

○補正予算で機器を購入すると光熱費が懸念されるが、どのように対処する想定か。  
→クラウドを利用する予定。1年間の予算になるので、令和7年度分をどうするかという課題はあるが、まずはしっかり計算資源を活用していきたい。

○NIIのSINETは重要なインフラであり予算も定常的に必要なものと認識しているが、補助金とのことで減額となる懸念はないか。

→通常のプロンティア事業ではなく、基盤として保証されることを確認している。

○ ROISの新たな挑戦シリーズ 第3弾(統計数理研究所)

椿統計数理研究所長より資料に基づき、研究所における取組み及び新たな挑戦等について発表された。

(意見概要)

○ASEAN各国との研究は素晴らしい取組みだと思うが、中国との研究において制約等はないのか。

→特に地震のプロジェクトについては中国やイタリアの関心が高く、プロジェクトにおいても強く関与しているが、安全保障輸出管理に関する問題は非常に大きくなっている。

○量子計算、量子コンピュータを利用したプロジェクトは想定しているか。

→量子計算において、統数研が数理的な貢献ができないか従前より検討しているが、量子コンピュータ自体を使うアプローチ自体は現時点でスコープに入っていない。

○量子コンピュータに限らず、GPU, CPU の融合、さらに量子計算が加わるなど、既存の計算手法だけでなく新しい計算手法の検討や拡張を推進する必要があると考える。従来の計算手法や統計解析を拡張していくことになるので総力戦。ROIS とも連携を深めたい。

→必要なミッションがクリアになってきた状況と認識。統数研においてもユースケースに関する研究が進んでおり、引き続き人材を適切に配置しながら推進したい。

○NICT においてはセキュリティ人材の育成を進めてきたが、データサイエンティスト人材の確保についても統数研を中心にアピールしていただきたい。博士人材だけでなく修士、学部、高専といった裾野を広げる取組みを期待。

→統数研自体の活動ではないが、数理データサイエンス教育については、学習指導要領の改訂にも取り組んできた。こういった取組みが将来的に波及してくると期待している。

○国の予算には限りがある中で、産業界との連携に関する仕組みづくりは行っているか。東京大学では子会社においてデータサイエンススクールを行ってきたが、その辺りでも連携できれば。

→大学教員の育成においても、民間資金を取り入れていく必要があると認識。是非連携を深めたい。

○社会人学生の受け皿はあるか。教員育成においても企業の協力無くして成り立たないので、企業の人材も活用する必要があると考える。

→基盤機関として総合研究大学院大学に参画しているが、統数研に限らずデータサイエンス系の学生は殆どが社会人学生。総務省の統計局においても学位取得に積極的と聞いており、ぜひネットワークを広げて推進したい。

○社会からの需要も増え、外部資金の獲得など研究費やプロジェクトも増えると、業務量も増加し効率化が課題になると思われる。ROIS として AI など活用しながら引っ張ってもらいたい。

→ROIS としても財務会計や人事給与などを中心にデジタル化を推進している。また紹介させていただきたい。

○我々の分野もゲノムが入って大量のデータを扱うようになってきた。九大でも Math for Industry などの機関はあるが、専門教育をしないとデータは扱えないと感じているので、ぜひその点でもご協力いただきたい。

○JAMSTEC では、先日の能登半島地震においても物理的に穴を掘って地震計を設置したが、そういった掘削の際にも統計的な手法により適切な場所を把握するのが効果的と思われ、そういった面でも協力をお願いできれば。

→十分に連携しきれていない分野もあると思われるので、協力していきたい。

(次回の経営協議会の日程について)

・次回の経営協議会は、令和6年3月14日(木) 10:00から開催の予定。

以上

#### 《配付資料》

- ・ 前回議事要旨
- ・【資料 1】立川共通事務部の改組について
- ・【資料2-1】統計数理研究所における研究系の改組について
- ・【資料2-2】統計数理研究所における研究系の改組の概要
- ・【資料2-3】情報・システム研究機構組織運営規則(新旧対照表)
- ・【資料2-4】情報・システム研究機構組織運営規則(改正案)
- ・【資料 3】就業規則等の一部改正等について
- ・【資料 4】令和6年度予算編成方針(案)
- ・【資料5-1】中期目標・中期計画の変更手続き等について
- ・【資料5-2】様式5
- ・【資料5-3】様式6(機構内とりまとめ)
- ・【資料5-4】第4期中期計画の令和5年度進捗状況確認の概要
- ・【資料6-1】令和6年度予算(案)主な事項
- ・【資料6-2】令和5年度補正予算主な事項
- ・【資料6-3】令和5年度・令和6年度運営費交付金比較表
- ・【資料6-4】国立大学改革の推進(参考)